

食品用ヒアルロン酸 ヒアロナノ[®]

肌においてヒアルロン酸とは

- ・皮膚の構成成分です。
- ・肌のハリや潤いを保つ成分です。
- ・加齢と共に減少します。

商品名	由来	用途	表示例※1	保証期間※2 (保存方法)	包装形態	平均分子量※3
ヒアロナノ [®]	発酵法	健康飲料 栄養補助食品等	「ヒアルロン酸」、「ムコ多糖」	24 ヲ月 (常温)	200g (100g×2) 2kg (1kg×2)	約 2,000

※1 本品にアレルギーに関する特定原材料等 28 品目は含有しておりません。本品は食品添加物です。

※2 保証期間は製造後未開封状態での期間です (1 ヲ月は30日として換算)。

※3 平均分子量は目安であり、規格ではありません。

ヒアロナノ[®]

規格及び分析値一例

商品の特徴

キュービーの「ヒアロナノ[®]」は独自技術で低分子化したヒアルロン酸です。素早く吸収され、肌の炎症軽減が期待できます。
※本品は既存添加物名簿収載品目における「ヒアルロン酸」に適合しております。

当社が保有する低分子ヒアルロン酸に関する特許の概要

- ・製法特許第 5824599 号：低分子ヒアルロン酸の製造方法
 - ・特許第 6599673 号：低分子ヒアルロン酸
 - ・特許第 6543046 号：低分子ヒアルロン酸を含有する粉末飲料
- ※特許の権利範囲等の詳細は、特許公報をご確認ください

	規 格	分析値一例
性 状	本品は白色～淡黄色粉末で、わずかに特異なおいがある。	適
*確認試験(1)	本品の水溶液(1→1000)10mLに塩化セチルピリジニウム溶液(1→20)2～3滴を滴加するとき白濁を生じる。	適
*確認試験(2)	本品の水溶液(1→10000)1mLに硫酸6mLを加え、水浴中で10分間加熱し、冷後カルバソール試液0.2mLを加えて放置するとき、液は赤色～赤紫色を呈する。	適
pH	3.5～5.5 (0.1+100)	4.2
*重 金 属	20μg/g以下	20μg/g以下
*ヒ 素	1.5μg/g以下	1.5μg/g以下
*溶血性連鎖球菌	連鎖球菌を認めない。	検出せず
*溶 血 性	赤血球が沈殿し、上澄液は透明である(溶血性を認めない)。	適
定 量 値 (グルクロン酸)	35%以上	44%
*◆ヒアルロン酸	95%以上	98%
水 分	10%以下	4%
*粗 脂 肪	0.2%以下	0.1%以下
*強 熱 残 分	20%以下	13%
動 粘 度	2.0mm ² /s以下 (5%, 30℃)	1.1mm ² /s
一般細菌数	300以下/g	20以下/g
大腸菌群	陰性/0.1g	陰性/0.1g
カビ・酵母	100以下/g	50以下/g

◆：弊社独自の方法による

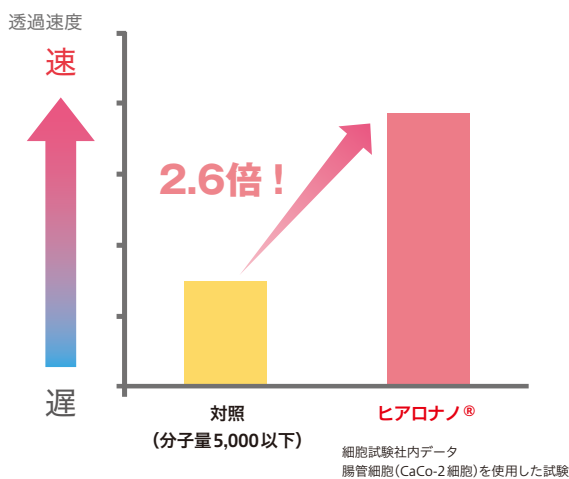
(ヒアルロン酸(%))=乾燥物中、ヒアルロン酸またはヒアルロン酸塩として
=100-蛋白質(%)-粗脂肪(%)-単糖(%)の式より求める

*：保証項目とし、ロット毎の試験は行いません。

有効性データ

<吸収速度の確認>

腸管細胞へのヒアルロン酸透過速度

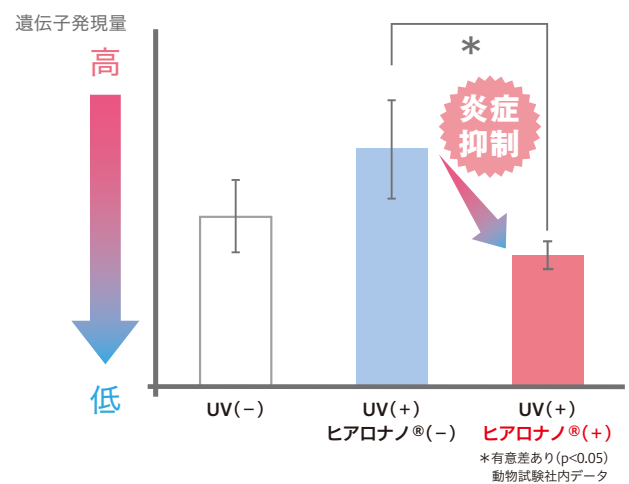


ヒアロナノ[®]は、分子量5,000以下のヒアルロン酸と比較し、吸収速度が速いことが確認されました。

<肌の炎症因子の確認>

動物 : 雄ヘアレスマウス(6週齢)
試験群 : UV(-)対照群、n=5
UV(+)対照群、n=6
UV(+)ヒアロナノ[®](200mg/kg・BW)群、n=6
試験方法: マウスに試料を7日間経口投与し、投与7日目に、UV(80mJ/cm²)を照射後、皮膚の炎症因子の遺伝子発現量を確認した。

炎症因子(IL-6)の発現量



ヒアロナノ[®]摂取により、紫外線照射による肌の炎症が抑制される可能性が確認されました。

安全性

急性毒性 : ラットでの経口LD₅₀は、2,000mg/kg以上
変異原性(Ames) : 陰性